

専門分野別英語教育

深山 晶子 (みやま あきこ)
ロボティクス&デザイン工学部 ロボット工学科 教授



用途・応用分野： English for Specific Purposes (ESP)
English for Academic Purposes (EAP)

■ 研究シーズ概要

ESP・EAP教育は、専門分野における各ジャンル（「論文」「マニュアル」「レポート」「特許明細書」「仕様書」など、専門家集団において繰り返し現れるコミュニケーションのイベントのこと）を分析し、その分析結果に基づき教育を行うことが前提となっている。ジャンル分析においては、言語素材を「観察」し、コミュニケーション方法を「分類」し、ルールの「仮説」を立て、「応用」して検証するというOCHAサイクルを繰り返し、ルールを確定する。

ジャンル分析におけるOCHAサイクル

Observe → Classify → Hypothesize → Apply



■ 研究シーズの特徴

ジャンル分析手法の特徴

- ①OCHAサイクルにおいては、分析する各ジャンルの言語素材を「ジャンルの目的」、「ジャンルのユーザー」、「情報内容」、「言語特徴」という視点から分析を行う。
- ②ジャンル分析によって明らかとなった専門分野の特徴を踏まえてコミュニケーションを行うと、情報の送受信の効率が格段に良い。
- ③ジャンル分析は専門分野を選ばず、ビジネス分野から学術分野にいたるまで、各分野のコミュニケーションルールを的確に分析できる。

